

2021年度第2回町田市立国際版画美術館運営協議会議事要旨

■日 時：2022年2月2日（水） 午後2時30分

■会 場：町田市立国際版画美術館 会議室

■内 容：

1. 報告事項

(1) 2021年度後半期の事業の振り返りと総括について

・展示事業

浮世絵風景画 ー広重・清親・巴水 三世代の眼一展 …… (資料1)

版画の見かた ー技法・表現・歴史一展 …… (資料2)

・普及事業 …… (資料3)

(2) 2021年度第23回「ゆうゆう版画美術館まつり」実施報告 …… (資料4)

2 審議事項

(1) 2022年度事業計画について

・展示事業 …… (資料5)

・普及事業 …… (資料6)

3 その他

■出席委員：磯見 輝夫
三上 豊
吉田 和夫
吉川 篤

諸川 春樹
降旗 千賀子
岩崎 直美

(敬称略)

■欠席委員：三竹 和行

■出席者：大久保館長

鈴木副館長 滝沢担当課長（学芸係）

和南城担当係長（学芸係） 渡邊係長（普及係）

安田係長（管理係） 内海担当係長（管理係）、

中村（管理係・書記）

■会議録（要約）

・開会の宣言（鈴木副館長）

・館長挨拶

1. 報告事項

次第及び配布資料に沿って、報告を行った。

・意見交換 （1）2021年度後半期の事業の振り返りと総括について

委員・・現在開催中の小中展を見させていただいた。町田市は学校ごとではなく学年ごとに展示しているのが新鮮で、本校の子どもたちの作品だけでなく、同学年の他の学校の子どもの作品も楽しめたので勉強にもなり、図工教諭にとってもいい刺激になったと思う。次の小学校書写展も楽しみにしている。

委員・・コロナ禍のなか、展示事業や普及事業など大変な思いをされていると思う。

浮世絵風景画展は1万人を超える来場があったということで、かなり人気があったかと思うが手応えとしてはいかがだったか。

工夫と反省点を見ると、ソーシャルディスタンス等、気を使われた点が多いと思うが、苦勞された点などを一般の方々に公開する機会があってもいいのではないか。というのも、最近大学で講師をしていると、学生は大きな美術館以外なかなか行かないことが多い。公立の小さな美術館は敷居が高いイメージを持たれているため、裏話をすると非常に喜ばれる。

考え方は色々あると思うが、学芸員の生の声を一般の方々に知らせることで、作品の動きやコロナ禍での学芸員の苦勞など、展示会の主題と共に美術館全体についてわかると美術館との距離が縮まっていくのではないか。

普及の視点から考えると、展示の中に少しでもそういった情報があると良いと感じた。

また、普及事業について以前は多くの美術館が「教育普及活動」という少し固い言い方をしていたが、最近は「イベント」という言葉に入れ替わってきている。

催事として行うのか、もっと長期的に教育として考えていくのかなど、2つの言葉をどう使い分けるかを美術館として認識しておいたほうが良い。

事務局・・浮世絵展の手応えについて、近年浮世絵はかなり人気が高まっていると感じており、そのなかでも川瀬巴水周辺の新版画については、特に最近様々な美術館で大規模な展覧会が開催されている。

当館の展覧会においても広重、清親、巴水という3人の作家に着目したので、その点で効果があったと感じている。

また、展覧会を開催するうえで苦勞した事などの紹介については、今後どのような取り組みができるか検討したい。

最近は「学芸員のお仕事」というサイトがあり、展示作業の状況などがアップされていると思うが、これまでは苦勞話はあまり表に出されてこなかったため、適度な伝え方を考えていく。

事務局・・普及事業は基本的に教育的配慮のもと行うべきというスタンスでいるが、雰囲気演出などもあるため、今のところタイトルに「イベント」と称する事業は何かを学んだり気づいたりという点よりもとにかく参加して楽しんでもらうようなものが多い。

そのあたりはきちんと区別しながら事業計画を立てていきたい。

事務局・・最近政府で観光と文化を結びつけるような呼びかけがされており、観光的なイベントと教育的な講座等は区別する必要があると感じている。

委員・・展覧会については報告を見るとどちらも成功しているように感じられ、特に浮世絵風景画展は大久保館長が尽力され、館長の色がそのまま出ている。

見る人に伝わるといのは非常に重要なことで良いと思う。

浮世絵風景画展は大成功と言っても良いか。図録が完売になっている点から見ても素晴らしい。

事務局・・来館者の目標値 12,930 人はクリアできなかったが、成功ではあったと思う。

委員・・コロナ禍にも関わらず、これだけの集客があったのは良いと思うし、これまでの課題が少しずつクリアされつつある。

例えば駅からの利便性の問題はタクシー割引を導入したり、客層に年配の方が多かったのが若い人たちも増えてきており、会場をみても雰囲気がずいぶん変わった印象を受けた。

SNS 発信の影響なのか。

事務局・・そのように感じている。情報発信のしかたと受け取り方の変化は若い世代の方が来館することに大きく反映されているのではないか。

委員・・駅にポスターをたくさん貼るよりもSNSで発信したほうがはるかに多くの方に来て頂けることもあるので、今後もそういった方向でも力を入れてほしい。

委員・・版画の見かた展は図録を作成できなかったというお話があったが、版画美術館ならではのコレクション展だと思うので、何らかの形で紙媒体のものを作って発信していくことで版画美術館の持ち味になり、後々効いてくると考える。

コレクション展では何も作らない美術館も多いが、何か工夫して作っていくことも必要ではないか。

今頂いているチラシもレイアウト等を工夫すればもっと素敵なものになると思う。版画の見かた展でも、会場でどう見せるかだけでなく、どういうことをやっているのかをグラフィズムでも達成するよう工夫されていくと面白いと思う。

委員・・国際版画美術館であれば国際的な感覚も必要と思うが、浮世絵は世界的に人気があって良い。

もちろん市民のため、シティプライドの象徴としての版画美術館があるとは思いますが、それを超えて世界に発信していくことも効果があると思う。

コロナ禍でなかなか直接行き来できず、交流もできないなか、教育面でもよく聞くDXといわれる形にいくつかの部分シフトしていくことも必要。

様々な面でデジタルの有効活用は効果があると感じている。

ただ、版画美術館が持っている雰囲気は来館しないと味わえないものなので、そこはリアルな強みであり、来館者はそれだけ得だと思うが、コンテンツそのものやイベント、作品などは可能な限りデジタル配信することにより、多くの人アクセスできるという効果もあると思う。

また、英語によるスライドレクチャーは素晴らしいと思う。今はこのような時代だと改めて感じた。

日本語を様々な言語に変換できるツールもあり、相当専門的なことも訳すことが出来る。

この美術館はインターネット環境がよくないようだが、Wi-Fi環境を大至急改善すべき。

また先日目黒の学校に訪れたが、廊下に飾ってある作品が素晴らしかったので、それをなんとかデジタル化し、ひとつのモデル化をして学習活動や教材に使えるのではないかという話をさせて頂いた。

町田でもたくさんのおもたちの作品が展示されていて、このなかから次の町田の文化人や芸術家が出てくると思うので、デジタルで記録しておくの良いと思う。

外に向かって発信するというグローバル的な部分と、せつかくのこの機会にあるデジタルを活かすということを頑張っていたきたい。

委員・・小中学校作品展について、鑑賞者同士の距離が充分にとれるように出品スペースが減ってしまったということだが、本校は今年度美術の教員が変わり展示を見た時、町田の展示はスペースが充分にあって素晴らしい、来年ももっと良い作品を送ろうと意欲を燃やしていた。

本校はたまたま立体の展示がなかったが、次年度は是非立体も展示するよう教員と話をした。

教員の意欲を駆り立てるような作品ばかりで感謝申し上げる。

委員・・浮世絵風景画展は非常に評判が良かったとの事で、同じ浮世絵を展示するにしても、一つの作品の何を見せるかがわかると大変見ごたえのある展覧会になると思う。今回は風景を共通したものとして、それぞれの作者が持つ特色がわかり興味を引いたのではないか。

何を見せたいか、ということをしっかり考えれば人は興味を持って来てくれるのではないかと考える。成功した展覧会ということで喜ばしいことだと思う。

・意見交換 (2) 2021年度第23回「ゆうゆう版画美術館まつり」実施報告

委員・・youtube による動画配信を初めての試みで行ったとの事で是非今後も続けてほしいと思うが、配信を行ったことで何か反応はあったか。

事務局・・反応は特になかった。

委員・・youtube は独自のリテラシーが必要。例えば視聴しやすい動画作成のしかたなどもあり、あまり長くせず、1本あたりを5分程度に区切ってたくさんアップするなどの工夫がある。

もし今後も続けるのであれば youtube のリテラシーも考えて頂ければ、レスポンスも得られるようになるのではないか。

2. 審議事項

(1) 2022年度事業計画について

資料6及び7により事務局から説明。原案のとおり承認された。

・委員からのご意見・ご質問等

委員・・普及事業について、「2、学校教育への協力」とあるが、団体鑑賞についてなど各学校にお知らせ頂けるのか。申込方法等学校内で広く知らせたい。

事務局・・特に申込書等はないが、ご希望があればご連絡いただき、各学校のご要望に応じ実施する。

社会科見学の一環で市内の施設をまわる中で当館にお立ち寄りいただくこともあれば美術館見学のみの学校もある。

また見学の際も、自由に観たいという学校や解説してほしいという学校もある。小教研の図工部や中教研の美術部などには適宜お知らせをしている。

プログラムのようなものでご案内しているわけではなく、その都度相談しながら各学校のご要望に合うよう実施している。

委員・・・他市の学校では小学4年生を対象に美術鑑賞教室を実施していた。

そこでは事前に美術館の方に学校にお越しいただき、鑑賞のしかたについて説明を受けたうえで美術館にお邪魔し、数人の子どもたちに対して1人の職員の方が解説を行っていた。

子どもたちは鑑賞といってもどのように見ればよいかわからなかったところに光を当てて頂き、見かたを広げることが出来た。

町田市がそれを全て実現できるかはわからないが、来年度も是非声をかけさせていただきたい。

委員・・・来年度の展覧会も非常に面白そうな企画がそろっていると感じた。

版画運動展についても町田らしい特色のある企画だと思う。

特に教育との関係は初代館長の久保氏の研究についても意識しているのか。

普及事業についても色々工夫されていると思うが、タイトルをもう少しラフなイメージで考えられると良い。

また、開館35周年が見えてきて、普及活動についても様々な活動をしていくなかで版画美術館でないとできないようなことも行ってきたと思うので、これまでの活動を記録するための準備など、計画的に進めてほしい。

事務局・・・初代館長の教育運動について、今回創造美術協会の作品展示はない。

まだ詳細な内容については申し上げられないが、現在のところ担当者からはそのように聞いている。

委員・・・興味を引くようなタイトルは非常に大事なので、長谷川潔展の「日常に潜む神秘」は非常に良いキャッチコピーだと思う。

観覧料が安いのは版画美術館の売りのひとつであり、是非続けて頂きたい。

観覧料が800円と900円の展示があるが、何か違いはあるのか。

事務局・・・春、秋の特別展が900円、収蔵品展は800円という値段設定をしている。

委員・・・展覧会計画についてはどれもユニークで良いと思う。

特に版画運動展について、これまで版画を媒体にして様々な活動があった。

それぞれの地域で版画によってまちおこしが行われるなど、生活に根差した版画というものを掘り起こしてほしい。

教育については美術館としてどのように拾い上げていくか検討を進めていただければと思う。

委員・・・特別展と収蔵品展の観覧料について、市の予算も絡んでくると思うが、例えば特

別展1,000円、収蔵品展700円とするような手もあると思う。

版画美術館の観覧料は確かに安いが、以前からこのような値段設定なのか。

事務局・・観覧料については、市のなかで受益者負担という考え方があり、それを勘案して料金が決まっている。

条例上は1,250円を上限とし、展覧会の内容等により現在は900円と800円という値段で運用している。

今後値上げの可能性もあるが、ご意見いただいた1,000円と700円というのも運営上有効なやり方ではないかと思う。

ただ、急に変えてしまうと影響が大きい部分もあるため、ルールのなかでできるだけ皆さんにご満足いただけるような価格を設定していきたいと考えている。

委員・・先ほども話題に挙げたタイトルについて、例えば「彫刻刀が刻む戦後日本 ― 2つの民衆版画運動」では、今の若い世代にとっては戦後といってもイメージしにくい。

当然ながら忘れてはいけない言葉ではあるが、何の戦争なのか聞かれてしまう場合もある。また、「2つの」と限ってしまうと少し損に感じてしまう。

「彫刻刀が刻む民衆版画運動」という程度であればいろんなものを包みこめるように感じた。

また、「版画×写真」は意外性があり、なかなか面白いタイトルだと思う。

事務局・・前回の会議でも「戦後」という言葉には注意したほうが良いとご意見を頂き、係内でも検討したが、第二次世界大戦後の版画運動を表現するにあたり、現状ではこのタイトルが良いという結論になった。

委員・・なるべく多くの方に情報を届けてほしい。イベントごとのチラシは配布されるが、全体の流れが一覧でわかるようなリーフレットや、QRコードを表示してホームページにアクセスできるようにするなどの仕組みをつくればうまく広報できると思う。

また、英語に翻訳したものを作っても良い。

発信力を高めるため、キャッチコピーなどを工夫されているのは良いと思う。

版画美術館や文学館ことばらんどといった専門性の高い施設は敷居が高くて訪れにくいので、そういった方たちが気楽に来られるようなキャッチコピー、普及活動やチラシの作り方、ホームページなど、関係表記をうまくクロスオーバーできるようになると良い。

版画と民衆運動について芸術・文化が社会の中核になったというのはなかなか面白いと思うので、様々な業界の方たちが興味を持つように広く広報していただきたい。

ここ数年はSDGsについて注目されているので、そのなかで事業がどこに位置づけられているかなど、工夫をされると良いと思う。

委員・・子どもたちにとっては展示もさることながら、やはり体験できるということはとても魅力があることなので、まずは美術に関心のある美術部に積極的に体験させたいと感じた。

委員・・中学校でも書写はあると思うが、書写展はないのか。

委員・・校内で展示したり、優秀作品を東京都に出したりなどはあるが市では行っていない。

委員・・市で行わない理由はあるのか。

委員・・できない理由は特に聞いていない。

委員・・八王子では市内の中学校書写展があり、中学生になると相当なレベルの素晴らしい作品がたくさんあった。

事情はあると思うが、例えば各校の優秀作品を集めて展示しても面白いのではないか。

委員・・中教研に今後検討を進められるか話をしてみる。

委員・・「児童・生徒」という表現が一部されているが、小学生までは児童、中学生以上は生徒となるので、表記の際は使い分けていただけると有り難い。

事務局・・今後はそのように対応させていただく。

(4) その他

・仮処分申し立てについての経過報告

事務局・・国際工芸美術館整備計画について2021年4月20日付で仮処分命令の申立てがあったことを前回の当協議会で報告させていただいた。

その対応について、7月、9月、10月、12月の合わせて4回、東京地方裁判所で裁判官への事情説明である審尋が行われた。

11月26日には裁判官による現地視察も行われている。

また次回審尋は2月21日を予定しており、当該案件については現在も継続中である。

・芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム（タイケンステージ）について

事務局・・版画美術館の向かい側の土地に整備する建物について、現在版画美術館にある工場の機能とカフェ等飲食の機能、来園者へご案内等を行う管理事務所のようなマネジメント機能を設置する予定と前回ご説明した通りで、建物の基本計画を現在策定中である。

事業を進めるにあたり、特に工場の機能について9月に工場利用者へご意見を伺う会を3回ほど設けさせていただいた。

その際いただいたご意見についてフィードバックする会を12月に2回ほど開催した。

また、当委員会の岩崎委員、吉川委員にもご協力いただき、児童・生徒の皆さんへアンケートを実施したいと考えている。

基本計画の素案を作成したら委員の皆様へお示しする。

委員・・工房については今後も「作る」という事を大事にしていただき、ご意見なども市へお伝えいただきたい。

版画美術館にとっては展示だけではなく、版画制作は非常に大きな要素であるため、後退することなく続けていただきたい。

委員・・モノレールの計画があると思うが、このあたりに駅はできるのか。

事務局・・東京都が設置した検討委員会でルートは決まったが、駅の位置などはこれからの予定。

会長・・他にご意見、ご質問ありますでしょうか。
なければこれで議題を終了します。